

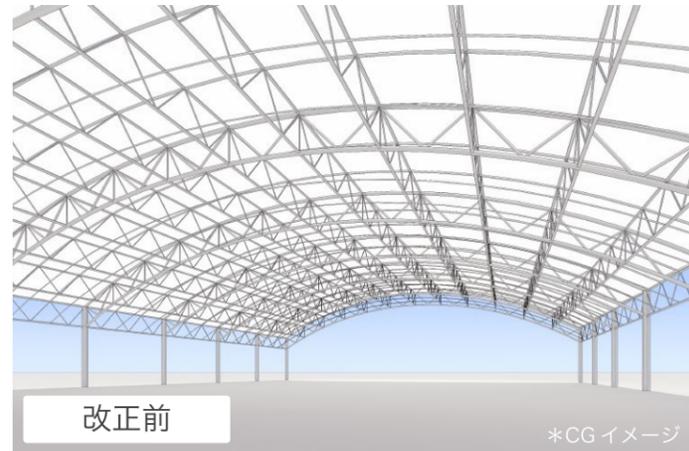
日本の建築が夢へと進む、大きな一歩。

*伏面積 1,000 m²を超える膜構造建築物が対象

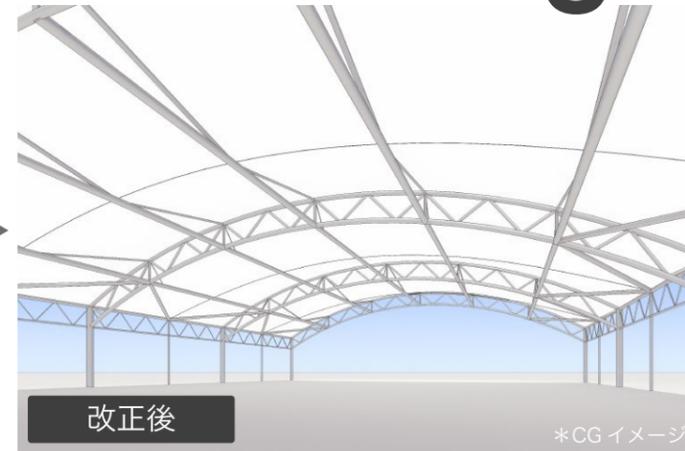
膜構造建築の実績が示してきた強度・耐久・安全性が改めて評価され、膜本来のポテンシャルが最大限に解放されることで、建築業界の起爆剤と活性化につながります

1 POINT

膜を支持する骨組同士の間隔：4m 以下



膜を支持する骨組同士の間隔：20m



5倍以上 (注)

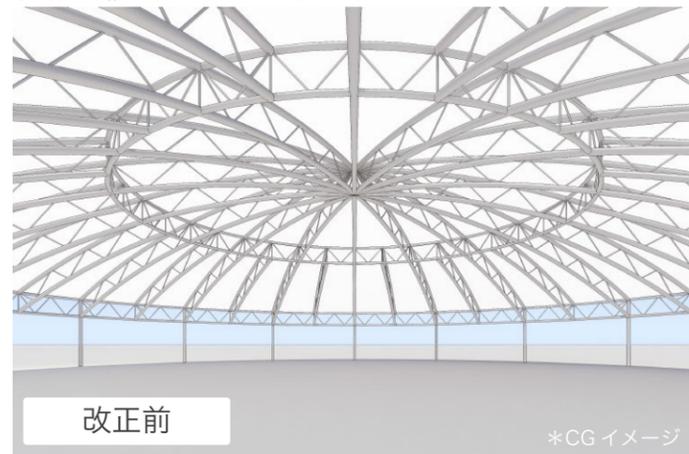


心身ともに健康なくらしへとつなぐ
膜構造ならではの圧倒的開放感

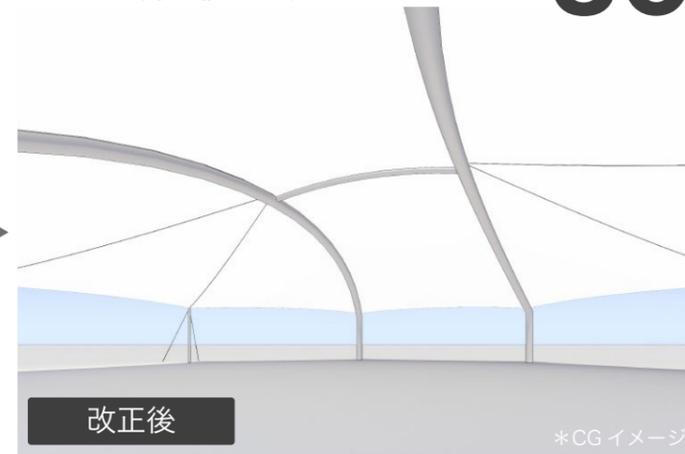
開放感と明るさ感が大幅に高まり、スポーツをはじめとする活動空間においてこれまでにない自然と調和するオープンエア空間が生まれます。

2 POINT

骨組の構造でなければならない



ケーブル併用構造可能



鉄骨重量 50% 減 (注)



超軽量構造が新たな答えを導く
サステナブルな社会の建築工法

最小の部材で空間を形成することができ、製造・施工時に発生するCO₂削減にも大きく寄与、低炭素社会実現に寄与します。

3 POINT

屋根形態が切妻・片流れ・円弧に制限



優雅なフォルム、軽快かつダイナミックな形態が可能



建築家の意欲を強く喚起



交流を生み出し、地域活性化へ
にぎわいを演出する彩りデザイン

建築家の描く自由でダイナミックな創造をそのまま形にすることができ、市民に愛されるまちのシンボルを創出します。

(注) モデルケースでの算出数値です。設計内容により数値は変動します。